

市民公開講演会

放射線から未来の地球環境を考える

日本人を震撼させた東日本大震災とこれによる東京電力福島第一原子力発電所の事故処理は進んでいるものの、収束までの道は遠く、長期的な環境影響と特に汚染水処理の問題が懸念されております。このような重大事故に対して、大学が何をしてきたか、また、何ができるのか、常に考え、未来に向かってこれらの情報を繋ぐ必要があります。本年の公開講演会では環境をキーワードとして「放射線から未来の地球環境を考える」をテーマとして取り上げました。本講演会では各分野からそれぞれの現状・課題を紹介いただきますが、これにより未来を考えるきっかけの一助になればと考えております。

世話人 青木 一真、近藤 隆

日時

2017年

12月8日[金]

13:00~16:40(開場 12:30)

場所

富山大学五福キャンパス 理学部多目的ホール



対象 学生、教職員、一般市民

入場 無料

司会:富山大学大学院理工学研究部・教授 青木 一真

13:00~13:10

|開会の挨拶 富山大学長 遠藤 俊郎

13:10~14:10

|基調講演「福島原発事故による放射性物質の海洋環境での広がり」

 東京大学大気海洋研究所国際連携研究センター長・教授 植松 光夫
 座長:富山大学大学院医学薬学研究部・教授 野口 京

14:10~15:00

|講演「トリチウム汚染水を考える」

 茨城大学大学院理工学研究科 量子線科学専攻
 環境放射線科学コース・教授 鳥養 祐二
 座長:富山大学研究推進機構水素同位体科学研究センター・教授 波多野 雄治

15:00~15:20

休憩

15:20~16:00

|講演「高レベル放射性廃棄物地層処分の現状について」

 北陸電力(株) 原子力本部原子力部原子燃料技術チーム 安田 広志
 座長:富山大学大学院理工学研究部・教授 丸茂 克美

16:00~16:35

 |講演「地球と経済の持続可能性
-自然界と社会をつなぐ-

 富山大学名誉教授 桂木 健次/富山大学経済学部・教授 新里 泰孝
 座長:富山大学教育・学生支援機構・教授 橋本 勝

16:35~16:40

|閉会の挨拶 富山大学研究推進機構・准教授, アイソトープ実験施設長 庄司 美樹

主催:富山大学「平成29年度富山大学学長裁量経費支援事業」 後援:富山大学名誉教授の会、北日本新聞社

問い合わせ

 富山大学研究推進機構研究推進総合支援センター 生命科学先端研究支援ユニット
 アイソトープ実験施設 庄司 美樹 TEL.076-434-7190 FAX.076-434-5004